

I 平成20年度学力・学習状況の主な結果

1 国テスト(全国学力・学習状況調査) 小6・中3

佐伯市では、市内の小学校6年生、中学校3年生を対象とし、平成20年4月22日(火)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。

【実施教科】

小6・・・国語と算数の2教科
中3・・・国語と数学の2教科

【実施内容】

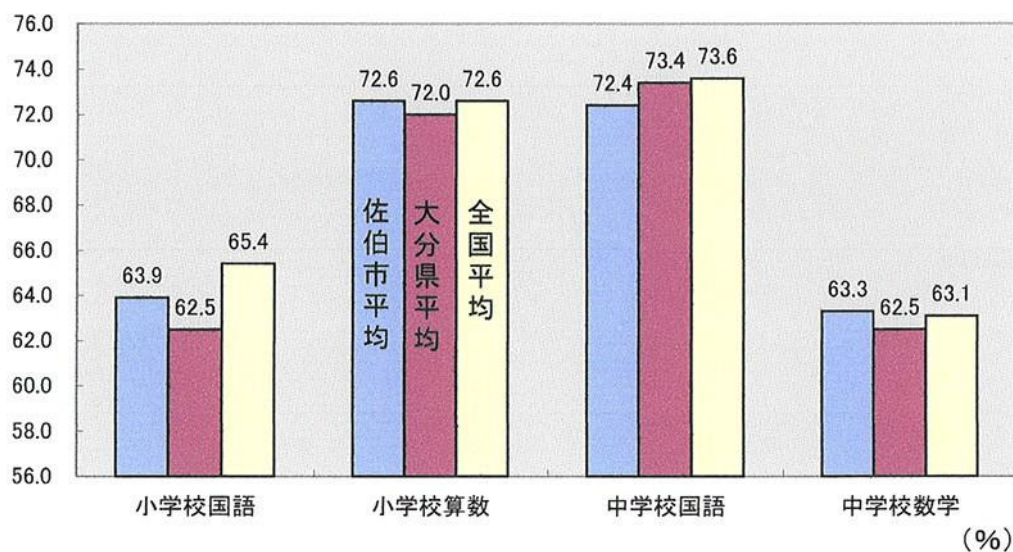
国語A・算数A・数学A・・・主として「知識」に関する問題
国語B・算数B・数学B・・・主として「活用」に関する問題
児童質問紙、生徒質問紙(生活習慣や学習環境等に関する学習状況調査)

【平均正答率(平均点を意味する)の全体比較】

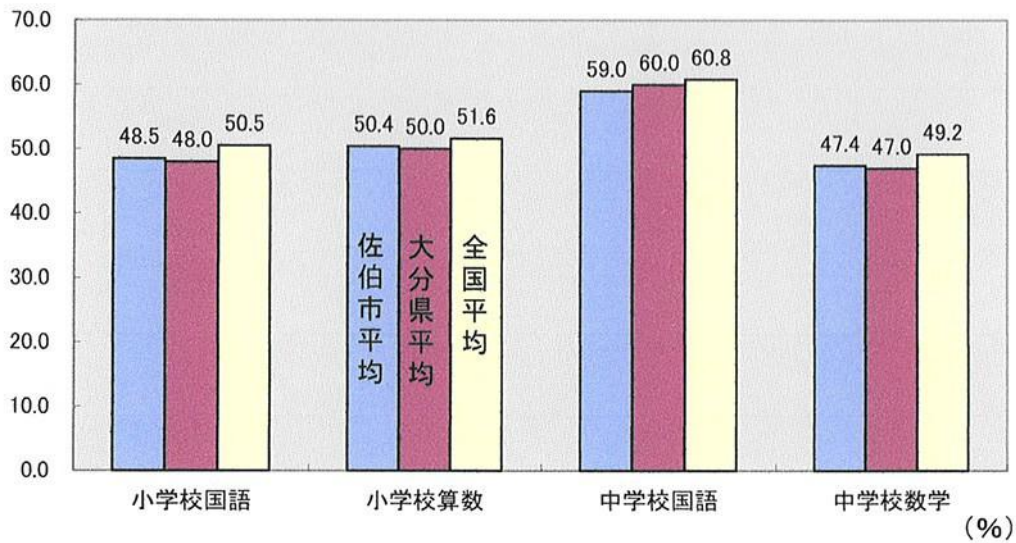
平均正答率(%)

対象学年		小学校第6学年		中学校第3学年	
対象教科		国語	算数	国語	数学
実施年度		H20	H20	H20	H20
(A問題) 主として 知識	佐伯市平均	63.9	72.6	72.4	63.3
	大分県平均	62.5	72.0	73.4	62.5
	全国平均	65.4	72.6	73.6	63.1
(B問題) 主として 活用	佐伯市平均	48.5	50.4	59.0	47.4
	大分県平均	48.0	50.0	60.0	47.0
	全国平均	50.5	51.6	60.8	49.2

A問題(主として「知識」)



B問題(主として「活用」)



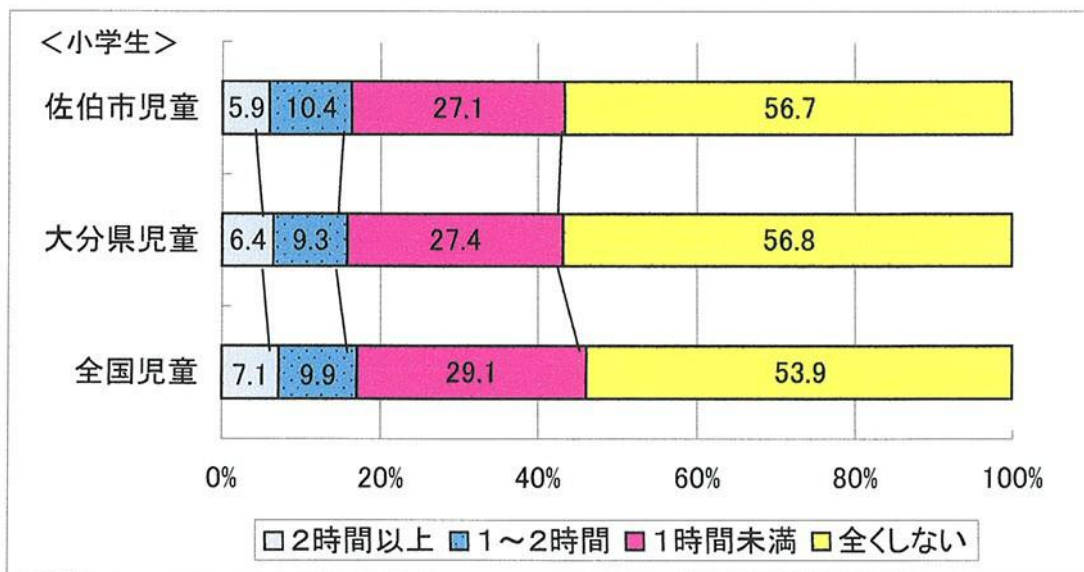
○A問題(主として「知識」)に関しては、小学校の国語・算数、中学校の数学において県平均を上回り、国平均とはほぼ同等であります。中学校の国語においては県平均・国平均を1ポイント程度下回っております。

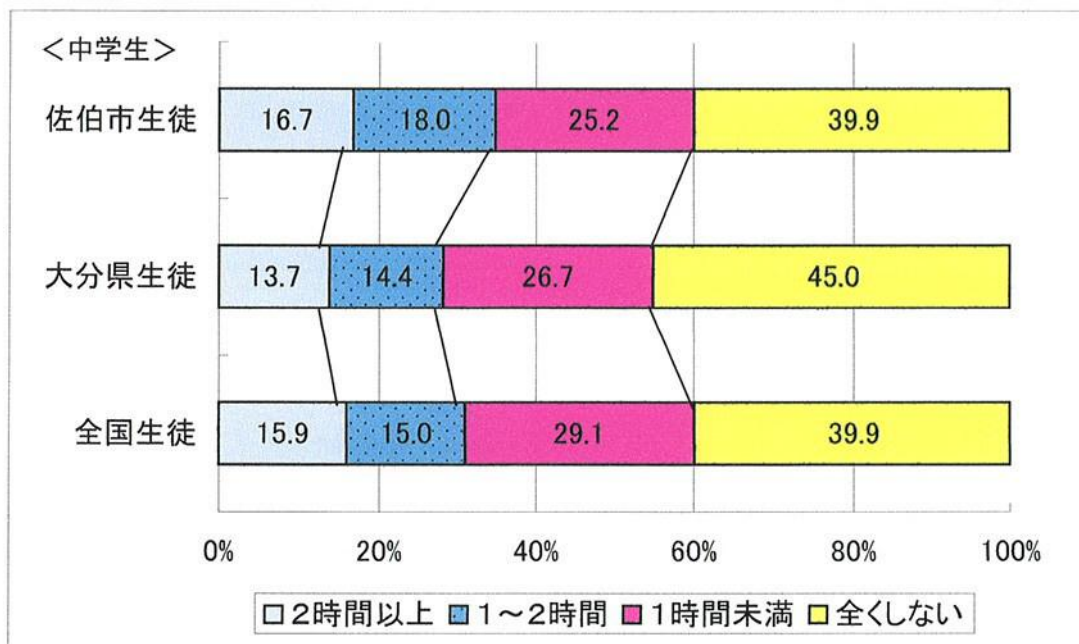
○B問題(主として「活用」)に関しては、小学校の国語・算数、中学校の数学において県平均を上回っているものの、国平均より1～2ポイント下回っております。中学校の国語においては県平均・全国平均より1～2ポイント程度下回っております。

○単純に比較はできませんが、平成20年度の結果は昨年度の結果と比べ、小・中学校ともに全体的に向上している傾向にあります。

【学習状況調査(児童生徒質問紙の回答)の結果】(一部を抜粋)

問い：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか。

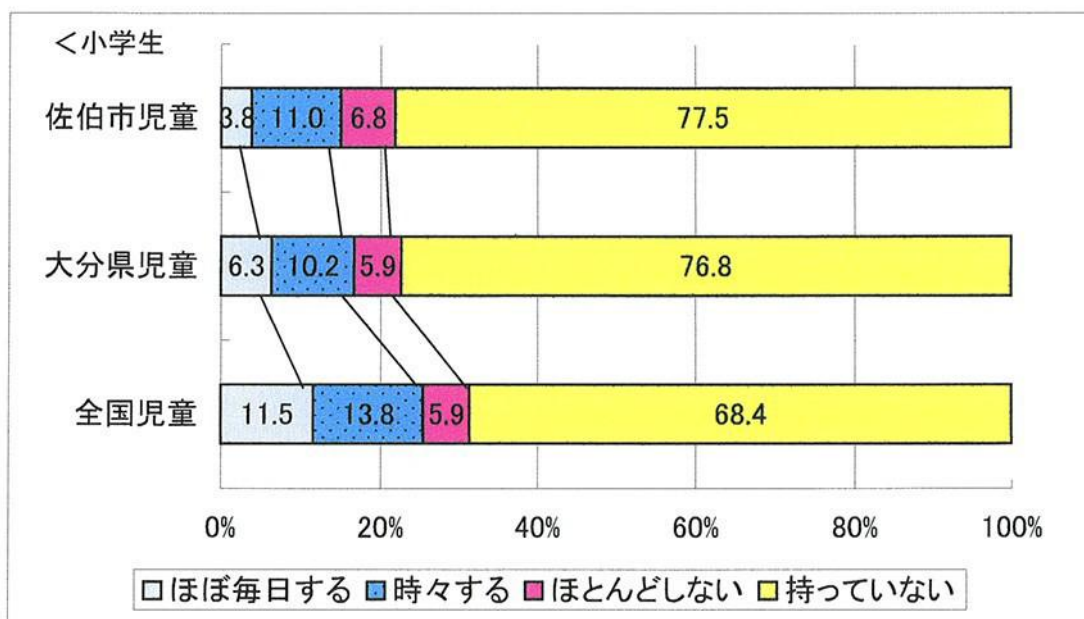


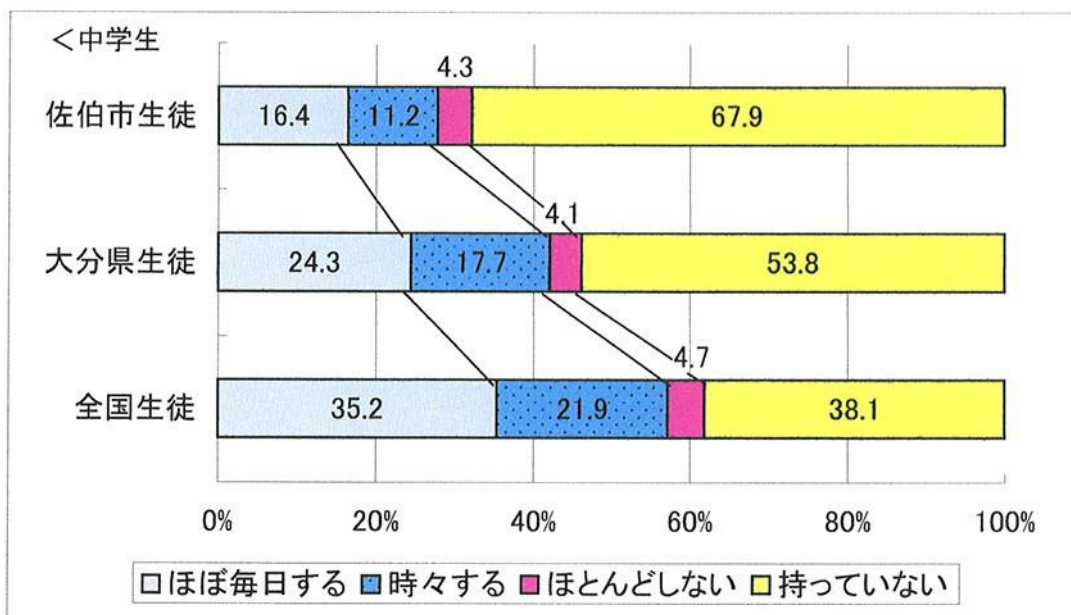


○小学生のインターネット使用率は、ほぼ県平均・全国平均と同じですが、「1時間以上」の使用率は県平均を上回り、普段パソコンなどでインターネットに接続する児童の割合が比較的高い傾向にあります。

○中学生のインターネット使用率は、県平均・全国平均を上回る傾向にあります。特に「2時間以上」「1～2時間」の使用率はともに県平均・全国平均を上回り、普段パソコンなどでインターネットに接続する時間の長い生徒の割合が高いことがわかります。

問い：携帯電話で通話やメールをしていますか。

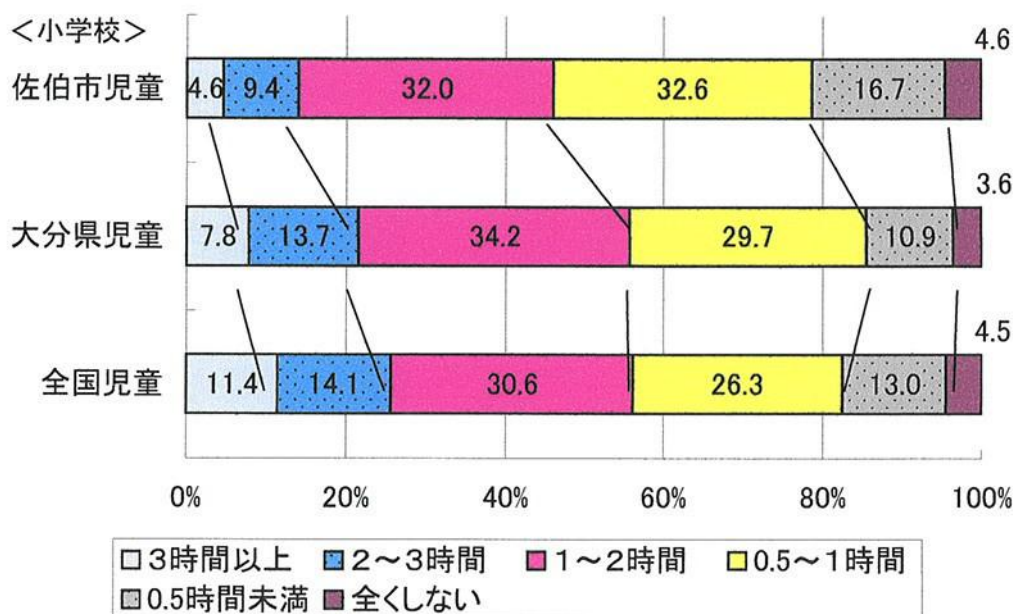


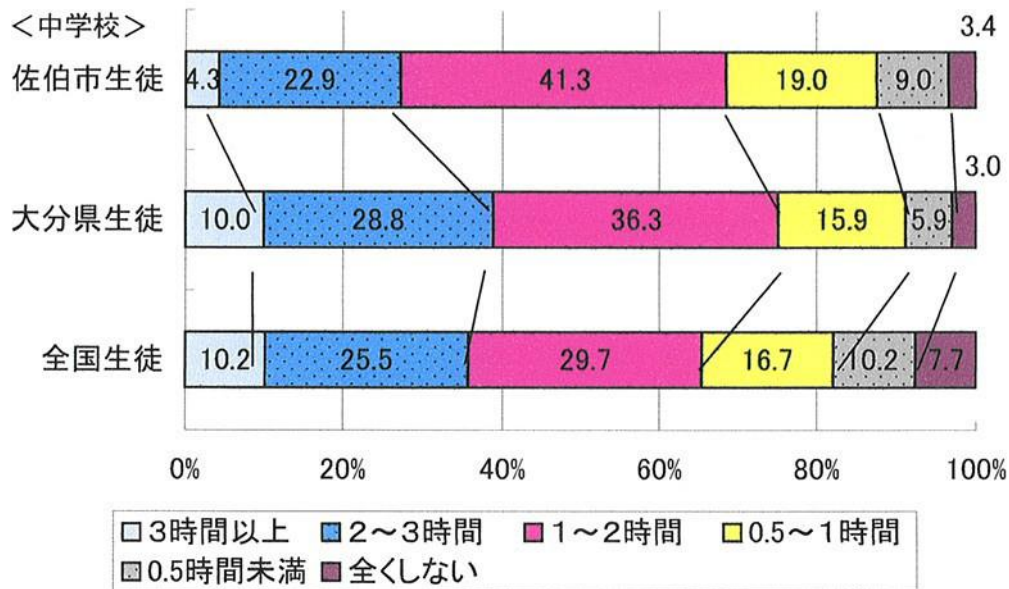


○携帯電話での通話やメールの使用率は、小学生においては全国平均を下回り県平均とほぼ同じ割合にあり、中学生においては県平均・全国平均を下回ります。

○携帯電話の使用率を聞いたこの調査結果から、小学生の約22%、中学生の約32%が携帯電話を所持又は使用している実態もうかがえます。

問い：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。





○小学生の家庭での学習時間は、県平均・全国平均より下回る傾向にあります。特に、「1時間以上」学習する児童の割合は、県平均・全国平均より約10ポイントも下回り、家庭での学習量や学習習慣などに課題があることがうかがえます。

○中学生の家庭での学習時間は、県平均・全国平均より下回る傾向にあります。特に「1時間以上」学習する生徒の割合は、県平均と比べ約7ポイント下回り、「2時間以上」学習する生徒の割合では約12ポイントも下回ります。高校進学など進路決定を控えた中学校3年生の家庭での学習習慣等に課題があることがうかがえます。